

# 「美容機器再生機構」本格始動！ 脱毛の不安を払拭、安全機器の普及と 新たなサロンづくりへ

美容機器再生機構グループ

脱毛の不安、脱毛機の安全性が問われる今日、脱毛に関するサロンのニーズは日増しに高まっている。サロンでは、「数年前に高額な脱毛機を導入したのに、“毛乳頭などを破壊するような強い光の出せる脱毛機は医療機器のためエステティックサロンでは使用できない”と言われ、対処に困っている」などの声も。そこで一躍脚光を浴びているのが、「美容機器再生機構」。安全・確実なデータに基づいた脱毛機のヘッド再生を中心に、脱毛の安全性に関する測定、施術方法など、さまざまな見地からソフトとハードを提供している。運営母体である有限会社リンケージの秘密に迫る。

## 光脱毛の仕組みと業界が抱える課題

光のエネルギーを使って毛根にダメージを与え、毛が生えてこない状態にすること。しかも、皮膚にはダメージを与えず、波長を調整して毛根にエネルギーが集中するような仕組みを各社が開発、全国のエステティックサロンで光脱毛が普及している。

光脱毛は、ある程度のエネルギーを与えないと毛が生えてこない状態にならない。エネルギーの量には個人差PDF（肌の色や毛根の色など）があり、80%の強さでも効果がない人もいれば60%の強さでも火傷をしてしまう人もいる。そこで、現在エステティック業界が提唱しているのが、光脱毛機自体のエネルギー出力を抑えるということ。しかし、出力を抑えると設定した出力以上のエネルギーを与えないと効果がないお客様に対しては効果がなく、サロン運営にも関わってくる。

また、熟練した技術を持つエステシャンであれば経験で対応できるケースもあるが、業界のエステシャンが一律に高度な技術を持っているわけではない。



## 「美容機器再生機構」のできること ランプの出力測定&肌測定を実施

美容機器再生機構では、こうした現状に対応し、ランプ交換するハンドピースの出力のパラメータを今まで以上に可能な限り少なくすることを実施している。そのために今までどおり使用するキセノンランプ・フィルター・反射板等の精密測定、そして最後に、組込調整後の実機での出力を測定。さらに、それぞれのお客様にあった適正なエネルギー出力を知る方法として、施術前に各部位ごとの肌の色診断を推進中だ。

肌の色診断のために使用するのは、ロサンゼルス皮膚科医Dr.kamiが独自に開発したスキンアナライザー。このスキンアナライザーで、各部位を測定すると肌の色に応じて数値を表示される。この数値をもとに出力を決定していく。

一方、「現在、サロンに流通する機種ごとのデータが少ない状態のため、全国のサロンにモニター協力を呼びかけている。業界横断的なプログラムを早期に完成し、健全な光脱毛業界発展に寄与していく」（美容機器再生機構）とし、全国規模で事業を普及していく考えだ。



<問い合わせ先>

美容機器再生機構 有限会社リンケージ

〒390-0837 長野県松本市鎌田1-5-13

TEL:0263-28-3108 FAX:0263-28-3090

そろそろ再生品を試そうとお考えの方へ

当社の製品は全機種保証付きです。詳しくはお問合せください。

## ヘッド再生・ランプ交換いたします。



最大  
**65%**  
コスト削減

お問い合わせは  
美容機器再生機構  
有限会社 リンケージ



交換実績 **1,200** 台以上

当社で交換したハンドピースは、1台1台の出力を微調整の上、出荷しておりますので本体の調整なしでも安心してお使いいただけます。

ランプ交換  
**189,000**円~

〒390-0837 長野県松本市鎌田1-5-13 TEL:0263-28-3108 FAX:0263-28-3090 各種美容機器再生 ご相談ください。

詳細についてはホームページをご覧ください。今すぐアクセス!! URL:<http://www.lpi.co.jp> e-mail:[support@lpi.co.jp](mailto:support@lpi.co.jp)